

ことねぎだより

2018年2月号 NO.129 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

皆さまへのお詫び

年末から年明けにかけて、日頃よりお世話になっている皆様には大変ご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

安定供給が出来ないということがどういふことか、お客様からいただいたひとつひとつの言葉を噛み締め、今それぞれの部署で出来ることを考え日々の業務に取り組んでいます。私たち自身、短い状態の葱を収穫しなければならぬこと、やむを得ないものの、葱たちを良い状態で送り出せてやれないこと、心が痛む思っています。

だからと言って、決して後ろ向きな気持ちではありません。二度と同じ思いほしたくない、ご迷惑かけたくないという一心です。もうしばらく、回復まで時間がかかります。大変ご迷惑おかけして申し訳ございません。

今月の
ことねぎ
生育途中の短い冬葱、カゴに入る状態は通常の半分の背丈の長さ、収量激減でレートの稼働も減り、いつもと違う状況に戸惑いの気持ち。どんな葱も無駄にしない、ロスを出さないひとつひとつ手剥き作業で。畑の農人、加工の農人たちから精一杯お届けする冬葱です。



- 今月、みなさまにお届けする
- 九条ねぎが京都でのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

京都市場、セリの様子

全国的に野菜の高騰がニュースになっています。昨年12月から市場の雰囲気もいつもと違う空気を感じます。九条ねぎも、800gが約4000円の高値がつくなど（通常の5倍～）、葉物野菜がプレミアム価格に…。この十数年、今まで見たことのない状況と現実にとだ驚くばかりです。



京都市内の最高気温は8℃ほど、特に朝方は-1℃を記録。トラックの窓ガラスが凍っていて、お湯をかける作業から1日が始まります。

今できることを、前向きに

寒さが増す京都の市内。2月の冷え込みに備えて、ひたすらねぎの成長を守る作業が続きます。先日は雪が降り、春までどれだけ冷え込むのか、ねぎたちがどこまで伸びていけるのか、不安もありますが、目の前の出来ることに専念します。



南丹市・美山の雪景色



美山の農人から冬景色の様子が届きました。夏場は生産のメイン産地になる美山は、冬はこうして雪が積もるので休作中。観光地として有名なかやぶきの里はやはり綺麗ですが、夏の青空の下の葱畑が恋しくなります。

